

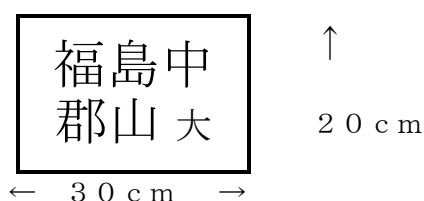
令和7年度第68回福島県中学校体育大会

バドミントン大会要項

- | | | | |
|---|-------|--|---|
| 1 | 主 催 | 福島県中学校体育連盟
福島県中学校長会
福島県バドミントン協会 | 福島県教育委員会
郡山市教育委員会
公益財団法人福島県スポーツ協会 |
| 2 | 後 援 | 郡山市 | |
| 3 | 主 管 | 県中地区中学校体育連盟 | |
| 4 | 期 日 | 令和7年7月22日（火）～24日（木） | |
| | | 22日（火）公式練習 | 10：00～12：00 |
| | | 監督会 | 12：00～ |
| | | 開会式 | 12：40～ |
| | | 競 技 | 13：00～ 個人戦（1、2回戦） |
| | | 23日（水）公式練習 | 8：00～ |
| | | 競 技 | 9：15～ 団体戦（1回戦～決勝） |
| | | 24日（木）公式練習 | 8：00～ |
| | | 競 技 | 9：00～ 個人戦（3回戦～決勝） |
| 5 | 会 場 | 宝来屋ボンズアリーナ | |
| 6 | 参加資格 | (1) 福島県中学校体育連盟に加盟の学校に在学し校長が参加を認めた者とする。
(2) 福島県中学校体育連盟に登録を認められた地域クラブ活動に所属する生徒とする。
(3) 各地区予選会を通過した一校単位、もしくは単一クラブで編成されたチーム、および個人とする。 | |
| 7 | 引率・監督 | (1) 学校においては、参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員確認書（校長承諾書）」に必要事項を記入し、参加申込と同時に提出する。なお、部活動指導員は当該校以外の引率及び依頼監督にはなれない。
(2) 外部コーチについては校長が認めた者とし、所定の様式に従い「コーチ確認書」または「入場許可申請書（個人専用）」を参加申込と同時に提出する。ただし、当該校以外の中学校教職員・校長・部活動指導員の外部コーチとしてのベンチ入りは認めない。
(3) 地域クラブ活動においては、責任ある代表者または監督・指導者が引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策をたてておくこと。
(4) 地域クラブ活動における監督は、福島県中学校体育連盟に登録した公認スポーツ指導者とする。
(5) 監督会を公式練習後開くので、監督は必ず出席すること。
(6) 監督・コーチ（外部コーチを含む）・マネージャー（出場校の教員または生徒）についても、本大会が学校管理下にあることを認識し、その品位を保つために服装を整えとともに、選手の健康管理の把握に努め、大会運営に協力する。
(7) 本大会に出場するチーム・選手の引率、監督、部活動指導員、外部コーチ等は、運動部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。また、外部コーチ等は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。 | |
| 8 | 参加人員 | (1) 団体戦
① 男女とも16チーム。基本各地区2、特別1、推薦3、最大出場枠3。推薦は、前年度総合大会の優勝→準優勝→3位の順で+2、協会登録チーム数の多い地区に+1 | |

- ② 1チーム 監督1、コーチまたはマネージャー1、選手5～7とする。
- (2) 個人戦
シングルスは男女とも24名、ダブルスは男女とも24組。基本各地区3、特別3、推薦3、最大出場枠4。推薦は、協会登録選手の多い3地区にそれぞれ+1。
- 9 競技規則 令和7年度（公財）日本バドミントン協会競技規則ならびに本大会運営規則による。
- 10 競技方法 (1) 団体戦、個人戦ともトーナメント方式により優勝を決定する。なお、団体戦、個人戦とも、東北出場決定戦を行う。
(2) 団体戦は複2・単1の対抗戦とし、複・単・複の順序で対戦する。並行試合もありえる。なお、同一選手が単と複、及び複と複を兼ねて出場することはできない。
(3) 団体戦の勝敗の決定は、2点先取とする。
- 11 使用シャトル 水鳥シャトルを使用する。（飛び番号3番を使用する。）
- 12 表彰 (1) 団体戦・個人戦とも、1位～3位に賞状とメダルを授与する。
(2) 男女とも団体優勝チームには、優勝旗（持ち回り）を授与する。
(3) 準備ができ次第、随時行う。
- 13 参加料 選手1名 2,000円とする。
- 14 参加申込 (1) 各学校及び地域クラブ活動は、各種申込書及びバドミントン参加申込書一式を地区中体連専門委員へ持参するか、校長(代表者)の記名押印した原本をPDF化(フルカラー、300dpi以上)を送信して申し込む。また、必要事項を入力した参加申込書のデータを、エクセル又はワード形式のまま、地区中体連専門委員長へ6月20日（金）正午必着でメールで送信する。送信先については、地区大会で確認する。
(2) 参加料、参加記念章代、プログラム代は、申込締切日までに競技要項記載の口座へ各チームごとに振り込む。なお、その際の振込手数料は各チーム負担とする。※チーム名が分かるようにすること。振り込む際のチーム名の表記については県中体連HP掲載資料を参照する。
- 【銀行名】 東邦銀行 西福島支店 【店番】 123
 【種 目】 普通 【口座番号】 362407
 【口座名義】 県中体連バド 部会長 高橋 光政
 ケンチュウタイレンバド ブカイチョウ タカハシミツマサ
- (3) 各地区中体連専門委員長は、各校等からの申込書類を確認の上、県競技部事務局へ申込書類を提出する。
- (4) 県競技部事務局は、抽選会時に申込書類ならびに振り込まれた金額を照らし合わせ集約し、県中体連事務局指定の口座へ振り込む。
- 15 宿泊 (1) 宿泊を希望する学校・地域クラブは、各チームで宿舍を確保し申し込むか、大会事務局指定の業者に宿泊申込書をFAX送信して、申し込むこと。また、宿泊申込書の原本は参加申込書と一緒に当該競技の地区専門部委員長へ提出すること。
※ チーム独自で確保した場合には、大会事務局に報告すること。
- (2) 大会役員の配宿は、大会事務局で行い、競技役員の配宿は、各競技事務局で行う。
- (3) 大会事務局指定の業者へ申し込む場合の宿泊料金は、令和7年度福島県スポーツ団体標準宿泊料金による。
※ チーム独自で確保した場合の料金は、事務局指定業者の料金と異なる。
- 16 その他 (1) プログラムは有料とし、1冊1,000円で販売する。
(2) 参加記念章は、1個500円で販売する。
(3) 東北大会への出場については、団体3チーム、個人シングルス3人、個人ダブルス3組が出場できる。
(4) 競技上の服装は、上下とも日本バドミントン協会の検定に合格したものを着用する。
(5) 背面の中央にゼッケンをつけ（サイズは以下の通り。ただし、縦20cm

以内、横30cm以内、文字の高さ6cm以上10cm以内）、学校名および姓を表示すること。同一チームで同姓の選手が出場する場合、名前の1文字目を小さく入れる。



- (6) ベンチに入ることができる者は以下の通りとする。
団体戦：監督1名、マネージャー（またはコーチ）1名、エントリー選手5～7名まで 計9名まで。

個人戦：監督を基本とした2名まで。監督以外で入れる者は、
①団体戦に登録してあるマネージャーまたはコーチ、選手。
②個人戦に登録してある選手。
③出場校の校長が承認、実行委員会より入場許可を得た者（個人戦入場許可）。ただし、複数校は兼ねられない。

- (7) 試合中の水分補給については、主審の許可を得てから行うこと。ただし、容器はスクイズボトル、または蓋付き容器（ペットボトル可）とする。
(8) 団体戦の選手変更および監督・コーチまたはマネージャーの変更については、監督会議の開始前に書面によって大会事務局（総務）に申し出て、監督会議で承認を得なければならない。
(9) 大会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ実施する。学校においては、独立行政法人日本スポーツ振興センターの定めを適用し、地域クラブ活動においては、当該クラブ代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。なお、大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。
(10) 福島県中学校体育連盟では申込書に記載する、選手氏名・学校名・学年等の情報は本大会プログラムへ掲載し広く公表するとともに、大会結果集約に利用する。また、成績については報道発表並びにホームページに掲載する。申込書に記載する情報の利用について同意が得られない等、事情がある場合は各地区中学校体育連盟を通して福島県中学校体育連盟及び開催地区中学校体育連盟・競技専門部と連絡をとり、適切に対処する。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。
(11) 観戦者における競技会場内、または応援席や駐車場等、会場周辺の事故、破損等については、大会主催者や施設管理者は一切責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。

※「会場周辺の事故」には、競技中のボール等の用具が車や人に直撃した場合や、風や雪雷等天候の影響で起こった場合も含む。

17 連絡先 県専門部委員長 畠 元章（郡山一中：024-932-5313）
開催地区専門部委員長 佐藤 聡嗣（郡山二中：024-932-5314）